平成24年11月

ふらっと 通信

第２８号

発　行：南房総市　富山地域づくり協議会「ふらっと」
企画編集：地域づくり支援員（三橋・原）
〒299-2292　南房総市久枝327番地（南房総市富山地域センター内）
メールアドレス：tomy_furatt@yahoo.co.jp
（TEL　0470-57-3000　FAX　0470-57-3002）

昨年より多い見物客で平群グラウンドは盛り上がる

伝統の平群地区祭礼が10月20日に行われ、平群地区7区の屋台8台が午後からそれぞれの区内を引き回し、午後6時に平群グラウンドに集合して、平群ばやしの競演を行いました。また、献灯で照らされた屋台と打ち上げられる花火の閃光で、会場は大きな盛り上がりを見せていました。

今年は、少し雲が多いくらいでまずまずの天候。平群グラウンドには昨年より多い見物客が訪れ、勇壮な祭りを堪能していました。

（屋台の献灯と打上げ花火は、最高の風景をつくり出していました）

富山小チームが準優勝の快挙
-千葉県ＰＴＡバレーボール大会で-

第36回千葉県PTAバレーボール大会が、11月1日、県総合スポーツセンター体育館で行われました。安房代表で出場した富山小チームは、1回戦から3回戦まで順調にストレートで勝ち進み、決勝戦で船橋市立大穴北小チームと対戦して、健闘の末惜しくも優勝を逃しました。

準優勝メンバーは次のとおりです。

＊敬称略　○数字は背番号

監督　下山亮　副監督　三堀孝敬
マネージャー　長谷川知子
選手①高山淳子②小藤田吏絵③渡辺奈恵⑦保選　監　の立レ１房セ大保子④田丸友江⑤小瀧清美⑥廣田芳美⑦諸岡理恵⑧座間敦子⑨下山梢⑩鈴木恵⑪能重清美⑬朝倉京子⑭古川信子

（準優勝の富山小学校チーム）

富山のことをもっとよく知ろう　2012年12月の行事

日/曜日	時間	行事名	主な内容	場所	主催
2（日）	8:00～12:00	紅梅維持	紅梅の剪定と消毒	市道平群大山線	荒川区役員
4（火）	9:00～	下原綱吊り	伝統のわらじを使用し危除の剣、ワラジ等の作成	原集会場	原組青年会
25（火）	8:00～16:00	天神社祭礼	天神社小祭典	中区	天神社

◎お詫び　第27号の11月の行事の中で、市部体協の問合せ先が誤っていましたのでお詫びします。

ご存じですか、こんな活動

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動をしています。今月は、「南房総市エコネット」をご紹介します。

南房総市エコネット（服部礼士会長：会員：22名）

平成20年9月に市民環境大学を卒業した有志が、講義で得た知識を活かして活動するために設立しました。

活動範囲は南房総市全域で、市のチャレンジ事業として「水辺の生き物観察会」、「市内9河川の水質調査（毎月1回）」、「環境保全についての講演会」を行うほか、「エコ・ウォーキング（ゴミを拾いながらのハイキング）」、「クリーン作戦（海岸の清掃活動）」などです。なお、エコ・ウォーキングは11月29日に伊予ヶ岳で行う予定です。

これらの活動の様子は、みんみんネットで紹介しています。皆さんの参加をお待ちしています。

（岩井海岸で行われたクリーン作戦10/25）

伝統の平群天神社の清掃作業を行う

平群祭礼前の10月13日に70名以上が参加して、平群天神社の清掃が行われました。

旧平群小学校で毎年伝統行事で続けられていた天神社の清掃は、同小学校の閉校に伴い存続が危ぶまれていました。

そこで、平群地区社会福祉協議会が地元の小学生・その父兄に呼びかけて清掃が実現したもので、子どもたちは社殿や境内の清掃に、汗を流しました。

（清掃後に記念写真に納まる平群地区児童）

秋空の下のふせひめ体育大会は最高でした。-優勝は市部・竹内チーム-

旧富山町時代から続いている富山ふせひめ体育大会が、10月8日、富山多目的運動場で行われました。

今回で第6回目を迎えますが屋外で行われるのは3年ぶりで、真っ青な秋空の下、参加した約800人の地区住民は玉入れやむかで競争など、誰でも参加できる競技に汗を流しました。競技は富山地区を8ブロックに分け熱戦が繰り広げられ、第2ブロックの市部・竹内チームが優勝しました。

競技結果は次のとおりです。

優　勝　第2ブロック（市部・竹内）
準優勝　第3ブロック（高崎・小浦）
第3位　第4ブロック（宮谷・合戸）

（中学生以上女子によるタイヤ取り競争。秋空の下、熾烈な戦いが繰り広げられました）

◆伏姫と八房のたわ言◆

「消すまでは出ない行かない離れない」。これは、11月9日から15日まで行われる「秋の全国火災予防運動」の標語です。

昔から、「泥棒は金目のものしか盗まないが、火事は家ごと持って行ってしまいます」と言います。また、ちょっとした不注意で生命をも奪ってしまう大きな火災に発展することがあります。乾燥する日が続きます。火の元には十分注意したいものです。

地域づくり支援員

アウトドアの知識を防災に活かす技術を学ぶ
ーあんどうりすさんの子育てと介護に役立つ防災講座ー

アウトドア流防災ファシリテーターのあんどうりすさんを招いて、子育てと介護に役立つナチュラル防災講座を、10月21日、富山公民館で開催しました。

当日は、秋のスポーツ行事が多く、また東日本大震災から1年半が過ぎて、若干防災意識が薄れてきているせいもあってか、募集人員の約半数の参加者になりました。それでもスタッフ合わせて約60名の方が、あんどうさんの話に耳を傾けたり、古武術を使って介助の体験や「ふらっと」で用意したアルファー米等の非常食などの試食をしました。

水・風・空気の仕組みをよく知って 防寒・暑さ対策を

災害時に備えておく道具は、袋に詰めておくだけでなく、日頃から正しい使い方や仕組みを、よく知っておくことが大切です。また停電に備えて、ペットボトルに水を入れて冷蔵庫に凍らせておけば、停電になっても中の食品を傷めないで済みます。

津波が起きた時は、「津波てんでん&いもたこ」の合言葉が大切です。

「いもたこ」とは
- い　いますぐに
- も　もどらず
- た　高いところに
- こ　行動開始

です。

避難するときは、穴の開いたヘルメットをかぶり、上から物が落ちてくる恐れのあるところを避けて、安全な場所（高いブロック塀は危険）を選ぶことです。日頃から避難経路を確認しておくことが大切です。

水や風・空気の仕組みをよく知っていれば、身近な物でも災害時に役に立ちます。寒いときには、風・水を防ぎ空気をためることが重要。暑いときは、その逆。ダウンジャケットは体温で羽毛を膨らませ、なるべく肌に近くなるよう着こむと効果的です。肌着＋ダウン＋風を通さない上着の3枚で十分暖かくなります。また、さらし等を使って赤ちゃんを体に密着させ抱くと、冬の災害時には暖かいし両手も使えます。専用のおんぶ紐でなくても、幅と長ささえあればうまく利用できます。

（赤ちゃんは体を密着させ抱くことが大切）

防寒=低温症対策
- ○風を防ぐ
  - 風速１mの風で体感温度は1度下がる
- ○水を防ぐ
  - 水中では25倍の速度で体温が奪われる
  - 気化熱による冷却
- ○空気をためる
  - 空気をためる格好をする
  - 100m高いと0.6度気温が下がる

暑さ対策=熱中症対策
- ○風を通す
  - 大きめの服
  - 風の吹く場所選び
- ○水で濡らす
  - 気化熱の利用
  - 緑のカーテン
- ○空気を通す

古武術を使って簡単に介助

手のひらを返して寝ている人の首の下に手を入れます。腕だけでなく自分の体重を利用して人を起こすことができます。介助される人の手をお腹の前で組んでもらい、重心を考えて力を入れないで簡単に人を起こすことができます。古武術を使えば、力を入れずに簡単に、起こすことができます

（自分の体重を利用して、人を起こします）

いのちを守るために毎日持ち歩く グッズ5点セット＋リュック

5点セットを入れるリュックサック

胸、腰の部分にベルトがついているものがお勧めです。身体に密着させることで重心が安定し、重さを均等にさせることができます。

①携帯電話（手回し充電器もセットで準備。ウェザーニュースや、自治体メールなどで情報収集）

②ホイッスル（玉の入っていないものを準備。玉の入っているものは、濡れると音がでない）

③LEDヘッドランプ

（日頃の生活に実践します。例えば、耳掃除などに使えます。普段使っていると電池の消耗が確認できる）

④マルチツール

（ナイフやはさみなどがコンパクトに収められているもの。普段から使い慣れていることが大切）

⑤知恵がある自分が一番役に立つ（市販されている紙おむつは外側が防水、内側が給水という仕組。外側にビニールを内側にタオルをあてると、オムツを作ることができる）

手づくり感がよく出た 暖か味のある文化祭でした

富山中学校の文化祭が、10月27日に同校体育館でありました。体育館での文化祭は3年ぶりで、伝統舞踊で始まり「富山学」の学習発表、軽快なジャズのリズムの吹奏楽部の演奏・生徒全体の合唱などで、来場者を楽しませました。特に合唱は、早い段階から練習を重ねてきたということで、素晴らしいものがありました。また全体的には、生徒たち手づくり感がよく出た、とても暖か味のある文化祭でした。

（2年生全員で演じた、4年目を迎えた伝統舞踊「南総里見八犬伝」）

フジテレビドラマ「遅咲きのひまわり～ボクの人生、リニューアル」の撮影が、10月22、29、31日に平久里下の古民家「ろくすけ」で行われました。放送は毎週火曜日午後9時から10時までです。

○　岩井駅構内美化活動

11月28日（水）9時30分～

いわい案内人の会主催で、「ふらっと」がお手伝いして作業します。お近くにお住まいの方は参加をお願いします。当日は小雨決行（荒天時は中止）です。スコップ・鎌・軍手・飲み物等を持参して、駅構内東側花壇に集合してください。

私の考える地域づくり㉕ 商いをする上で改めて思ったこと

先日千葉県商工会役員の研修会が千葉市であり、会長と参加してきました。会議の中で、「厳しい景気の中で一層少子高齢化が進み、商店街では商工会員の廃業等によって活気がなくなっている。消費者の大型店志向が、ますます顕著になっている」と講師からお話がありました。どの地域でも同じ悩みを抱えているのだと感じました。そのような中でも、役員の皆さんが地域密着経営で頑張っている様子が伝わりました。

また商人は地域の人に役立つこと、この店を必要と感じてもらえるように、地域に根を張っていかないといけないとも言われました。私自身いつの間にか薄れてしまった気持ちでした。ご来店くださったひとり一人のお客様にできる限り親切なお商いをし、満足していただく行動を心がける。目の前のひとりのお客様にありがとうと言う感謝の心を持ち、日々の商いをしていこうと思いました。

8月に「ふらっとフェスタ」のゆかた美人コンテストの審査員を頼まれていきました。久しぶりに地域のにぎわいを感じて、とてもうれしい気分になりました。

高齢化に伴う買い物弱者などの問題がありますが、これからも若い人たちと共に安心して暮らせる地域を目指していきたいと思います。

内房商工会副会長
吉本　晃さん

南房総みんみんネット　検索